

令和4年度 学校評価（期末自己評価表）

福島県立福島北高等学校

担当	「運営ビジョン」		評価指標		アンケート資料・具体的な取り組み				自己評価			自己点検・アンケート調査を受けての分析・改善策
	重点目標	重点(具体)項目	自己点検		生徒	保護者	教職員	学校評議員	項目毎評価	中項目(平均)	大項目(平均)	
学研		進路探求への取組	アンケート1 「産社や探究の時間を通して進路探究に取り組む態度を育てている。」		生徒 276人/374人 (73.8%)	保護者 289人/374人 (77.3%)	教職員 40人/42人 (95.2%)	学校評議員 3人/3人 (100%)	4	4	3.5	<ul style="list-style-type: none"> ・1年次、2年次では職業適性検査を実施し、その結果を参考にしながら行う職業講話や進路ガイダンスを通して、将来の職業に対する意識の高まりが見受けられた。職業調べ、職業インタビューはかなりの手間がかかるが、生徒にとっては大変有意義な学習となっている。 ・産社や探究の時間を通して、多くの進路実現へ向けての学習を行い、アンケートの結果からも生徒の6割が進路学習に真剣に取り組んでいると答えている。ただし、自身の進路に関してはぼんやりとしている生徒も少なくない。1年次の最後に実施するライフプランの作成に時間をかけられる工夫が必要である。 ・保護者への周知が足りないと思われる点に関しては、ホームページ等を活用しながら情報発信して行く必要がある。
			具体的な取り組み		職業適性検査(4月) 職業についての学習(DVD) 職業についてのパズルワーク(外部講師) 上級学校見学(5月) 職業インタビュー(11月) ライフプランの作成と発表(1月) 体験型進路ガイダンス(1年次2月、2年次3月)							
進路	重点目標Ⅰ	キャリア教育の推進	進路講演会・企業学校見学会の実施	アンケート2 「進路講演会や学校、企業見学は役立つ」		生徒 56	保護者 48	教職員 55	3.7	4	3.5	<ul style="list-style-type: none"> ・進路指導主事講話は、目の前の進路決定を迫られている3年次の生徒を対象に進路希望に合わせて、過去の具体的な事例を挙げながら、講話を実施した。2年次生には、1月下旬に実施した。その前後で地元企業を招いての「企業説明会」と年次主催の「先輩を聞く会」と有機的につながりができて、生徒への刺激になったようである。今後は、進学・就職にしろ自己の適性等と希望の乖離の幅を少なくするために、早期に生徒自身を生かせる場に目を向けさせる機会を多く持たせたい。
				具体的な取り組み		・進路指導主事講話(1年次・2年次対象) ・インターンシップ(12月実施) ・職場見学会(2月実施)						
学研		総合学科教育の推進	進路意欲の高揚	アンケート3 「地域理解や職業に就いての学習などが進路意欲の向上につながっている」		生徒 38	保護者 46	教職員 35	3	3	3.5	<ul style="list-style-type: none"> ・1年次、2年次を中心に多くの講演会を実施し、生徒の進路への意識を高めることが出来た。1年次では感染症対策を行いながら上級学校見学を実施することができた。また、職業インタビューでは聞く力や話す力の向上もみられた。 ・地域理解講演会を含めた飯坂町巡検を通して地域理解はある程度出来たと感じられる。調べたことと実際に見学したことをまとめ、発表したり、ポスターや冊子にまとめたりする学習を通して、コミュニケーション能力の向上にもつながった。
				具体的な取り組み		上級学校見学(5月) 飯坂町についての講演(5月) 演劇型職業講演会(7月) 職業インタビュー(11月) 職業に関する講演会(12月)						
学研		2科目選択のサポート	科目選択指導	アンケート4「科目選択ガイダンスや相談週間や進路に合った科目選択ができるよう指導した」		生徒 37	保護者 35	教職員 38	3	3	3.0	<ul style="list-style-type: none"> ・1年生向けに系列説明会、科目選択ガイダンスなどを丁寧実施した。また科目選択のシミュレーションや相談週間を行い、生徒の進路に応じた科目選択ができるようサポートを行うようにした。しかしながら、アンケートの結果から、ガイダンスが役に立っているという生徒も多いが、思わないという生徒や保護者も目立つため、より丁寧に説明していく必要があると感じている。 ・現在、学級減にともない教員数も減る方向となり、開設できる講座も減少していくことも懸念される。総合学科の特徴でもある、多くの選択科目から、進路実現に向けた自分だけの時間割を作るということが難しくなるかもしれないことも考え、生徒に最善の選択ができるよう工夫が必要である。
				具体的な取り組み		・2年次については「総合的な探究の時間Ⅰ」で2時間、ガイダンスを実施。 ・1年次については「産業社会と人間」の授業で5時間、ガイダンスおよび先輩の体験発表などを実施。また、保護者向けガイダンスを1回実施。 ・科目選択相談週間を設け、各教科の担当者に生徒が自由に相談や質問できるようにした。						

令和4年度 学校評価（期末自己評価表）

福島県立福島北高等学校

担当	「運営ビジョン」		評価指標		アンケート資料・具体的な取り組み						自己点検・アンケート調査を受けての分析・改善策			
	重点目標	重点(具体)項目	自己点検		アンケート資料				自己評価					
			評価方法 アンケート	実施状況 (回数等)	生徒 276人/374人 (73.8%)	保護者 289人/374人 (77.3%)	教職員 40人/42人 (95.2%)	学校評議員 3人/3人 (100%)	項目 毎 評価	中項目 (平均)		大項目 (平均)		
生指	重点目標Ⅱ 規律ある生活態度の育成	服装・頭髪検査の徹底	アンケート5 「服装、頭髪遅刻指導している」						4	3.7	3.6	服装頭髪指導については、指導基準を見直し、統一した指導基準で全教員の割り当てのもと実施した。アンケート結果から特に保護者の「そう思う」が66%、「ややそう思う」と合わせると97%の評価を得られている。教員間の共通理解のもと検査時だけでなく、日常生活においても指導を徹底する必要がある。		
			具体的な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・始業式・全校集会時に服装頭髪指導を実施 ・県下一斉服装指導(6月、10月)に合わせ、服装頭髪指導の実施 ・登校指導の実施 ・遅刻カードの活用 									挨拶や言葉遣いなどは、集会時や登校指導などによる指導はもとより、日常の教師側の働きかけ・対応が重要であることから、毎日の授業や学校生活・部活動などあらゆる場面を通して生徒へのより積極的なかわり・指導をお願いしていきたい。	
		高校生として必要な社会性	アンケート6 「あいさつや言葉づかいを指導している」						3					
		具体的な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・全校集会時の全体指導 ・登校指導における生徒への声かけの実践 											
		交通ルールの遵守	アンケート7 「交通安全指導の実施」						4					アンケート結果では生徒の交通安全に対する意識は高い。しかしながら、自損の転倒事故や軽度の接触事故が多く起きているが、中には重大事故につながりかねない事例もある。なによりも生徒自身の安全意識が最も重要なので、さらに意識を高めるような啓発を考えていきたい。PTA健全育成委員の協力をいただき、自転車安全運転走行一斉指導を実施することができた。駐輪指導では無施錠や無届け自転車での通学があり、盗難被害や事故等が懸念される。
		具体的な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・全校集会時の全体指導 ・1年次生に交通講話を実施 ・年間3回自転車安全運転走行一斉指導の実施 ・クラス掲示による啓発 ・駐輪指導の実施 ・自動車学校入校説明会の実施(3年次生徒・保護者対象) 											
重点目標Ⅰ 規律ある生活態度の育成	情報機器の適切な使用	アンケート8 「情報機器の適切な使用について指導している」						3	3.0		スクールタイム中のスマートフォンの使用、歩きスマホやイヤホンで音楽を聴きながらの自転車走行や歩行、SNSの不適切な使用等が見受けられる。法律や条例、マナーを教える指導が必要である。			
		具体的な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・新入生オリエンテーション時の情報モラル講話の実施 ・年度始めに情報機器の取り扱いについてルールの周知 ・集会時に情報機器の取り扱い及びSNS等の使用についての指導 											

令和4年度 学校評価（期末自己評価表）

福島県立福島北高等学校

担当	「運営ビジョン」		評価指標		アンケート資料・具体的な取り組み																											
	重点目標	重点(具体)項目	自己点検						自己評価 4-できている 3-まあまあできている 2-あまりできていない 1-できていない																							
			評価方法 アンケート	実施状況 (回教等)	生徒 276人/374人 (73.8%)	保護者 289人/374人 (77.3%)	教職員 40人/42人 (95.2%)	学校評議員 3人/3人 (100%)	項目 毎 評価	中項目 (平均)	大項目 (平均)	自己点検・アンケート調査を受けての分析・改善策																				
教相	規律ある生活態度の育成	3 教育相談の充実	教育相談の充実	アンケート9「教育相談等悩みを相談できる」	<table border="1"> <tr><th>対象</th><th>1</th><th>2</th><th>3</th><th>4</th></tr> <tr><td>生徒</td><td>8</td><td>19</td><td>45</td><td>32</td></tr> <tr><td>保護者</td><td>2</td><td>19</td><td>58</td><td>20</td></tr> <tr><td>教員</td><td>5</td><td>35</td><td>60</td><td>0</td></tr> </table>				対象	1	2	3	4	生徒	8	19	45	32	保護者	2	19	58	20	教員	5	35	60	0	4	4.0		<ul style="list-style-type: none"> ・教育相談に関する情報を、全校生に対し校内放送や教育相談だよりを配布して周知することができた。 ・カウンセリング終了後、SCと打合せを持ち、相談の状況や生徒の情報共有を行った。ケース会やスタッフ会など対応を検討する機会をもつこともできた。今後、必要に応じて、担任の先生がSCと面談し、共通理解を図る。
			対象	1	2	3	4																									
生徒	8	19	45	32																												
保護者	2	19	58	20																												
教員	5	35	60	0																												
具体的な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・木曜日の午後にSCによる教育相談を実施 ・必要に応じてSSWとの面談を実施 ・教育相談利用を呼び掛ける掲示物や、教育相談だよりを発行 ・教員対象に気になる生徒の調査を実施 																															
教務	基礎学力の向上と進路実現	1 学習習慣と基礎学力の向上	授業態度の育成	アンケート10「授業は真剣に取り組んでいる(教員は指導している)」	<table border="1"> <tr><th>対象</th><th>1</th><th>2</th><th>3</th><th>4</th></tr> <tr><td>生徒</td><td>4</td><td>49</td><td>47</td><td>0</td></tr> <tr><td>保護者</td><td>2</td><td>10</td><td>56</td><td>32</td></tr> <tr><td>教員</td><td>4</td><td>8</td><td>40</td><td>53</td></tr> </table>				対象	1	2	3	4	生徒	4	49	47	0	保護者	2	10	56	32	教員	4	8	40	53	4	3.0	3.3	<p>授業態度の育成については、授業に真剣に取り組む生徒の割合が昨年度(そう思う27%、ややそう思う54%)と比較して大きく改善している。授業に対する生徒の意欲が伺える結果となった。一方で、授業が分かりやすいと回答した生徒の割合は昨年度と大きく変わらず、教員側の授業改善の努力が今後より一層必要であると考えられる。</p> <p>今年度より、授業改善に関する校内研修の形式を変更し、特定の教員による研究授業ではなく、互いに普段の授業を見合うスタイルに変更した。教員が見てみたいと思う授業を見学することができ、自分の授業スタイルを振り返る機会ももっている。教員へのアンケートからも好評であったため、次年度以降、共通の研修テーマを設けるなどの工夫を加えながら実施していきたい。</p> <p>また、各教室へのプロジェクタおよびスクリーンの導入もあり、今年度より、ICTを活用した授業が本格的にスタートした。今年度も2回のICT活用教員研修会を実施したが、今後も研修を重ねたい。一方的に教員が授業を進めるのではなく、個に応じた指導を意識した授業の改善が必要である。視覚的なアプローチやアクティブラーニングを取り入れることで、「わかる授業」を展開しながら、生徒の授業に対する前向きな姿勢を育てたい。</p>
			対象	1	2	3	4																									
			生徒	4	49	47	0																									
			保護者	2	10	56	32																									
教員	4	8	40	53																												
授業改善	アンケート11「授業改善に努めている」	校内研修会(互見授業)	<table border="1"> <tr><th>対象</th><th>1</th><th>2</th><th>3</th><th>4</th></tr> <tr><td>生徒</td><td>1</td><td>12</td><td>61</td><td>26</td></tr> <tr><td>保護者</td><td>3</td><td>19</td><td>66</td><td>12</td></tr> <tr><td>教員</td><td>4</td><td>5</td><td>50</td><td>45</td></tr> </table>				対象	1	2	3	4	生徒	1	12	61	26	保護者	3	19	66	12	教員	4	5	50	45						
対象	1	2	3	4																												
生徒	1	12	61	26																												
保護者	3	19	66	12																												
教員	4	5	50	45																												
具体的な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・校内研修会(互見授業)(11月) ・5年経験者研修研究授業(12月) ・ICT活用教員研修会(6月、1月) 																															
学習習慣	アンケート12「朝自習や家庭学習(課題含む)に真剣に取り組んでいる。(教員は指導している)」	<table border="1"> <tr><th>対象</th><th>1</th><th>2</th><th>3</th><th>4</th></tr> <tr><td>生徒</td><td>3</td><td>16</td><td>47</td><td>33</td></tr> <tr><td>保護者</td><td>6</td><td>26</td><td>52</td><td>17</td></tr> <tr><td>教員</td><td>4</td><td>20</td><td>58</td><td>33</td></tr> </table>				対象	1	2	3	4	生徒	3	16	47	33	保護者	6	26	52	17	教員	4	20	58	33							
対象	1	2	3	4																												
生徒	3	16	47	33																												
保護者	6	26	52	17																												
教員	4	20	58	33																												
具体的な取り組み	朝自習(毎日)					2			<p>「授業への取組についての指導」や「教員の授業改善」の意識と比較すると、朝自習や家庭学習への指導は生徒・教員共に否定的な回答が多い。長期休業や調査前に課題を出す教科はあるが、日常的には放課後や休日を他の活動(部活動やボランティア等)にあてられるよう、学習を授業内で完結させる傾向が強いためであると考えられる。</p> <p>本来家庭で実施してくる課題を提出できない生徒に対して、現在は各教科で放課後に時間を設け指導し、課題を完成させるよう取り組んでいるが、家庭での学習習慣に関しては保護者の協力も不可欠と思われる。</p> <p>朝自習については、各年次で工夫して対応しており、今後も継続して学習習慣の確立に向けて努力を続けたい。</p>																							

令和4年度 学校評価（期末自己評価表）

福島県立福島北高等学校

担当	「運営ビジョン」		評価指標		アンケート資料・具体的な取り組み						自己評価 4-できている 3-まあまあできている 2-あまりできていない 1-できていない																					
	重点目標	重点(具体)項目	自己点検	自己点検	生徒 276人/374人 (73.8%)	保護者 289人/374人 (77.3%)	教職員 40人/42人 (95.2%)	学校評議員 3人/3人 (100%)	項目 毎 評価	中項目 (平均)				大項目 (平均)																		
図書	1 学習習慣と基礎学 力の向上	学習習慣	アンケート13 「図書館の活用を進めている。」		<table border="1" style="font-size: small; margin-top: 5px;"> <tr><th>Category</th><th>そう思う</th><th>ややそう思う</th><th>あまりそう思わない</th><th>そう思わない</th></tr> <tr><td>生徒</td><td>15</td><td>16</td><td>39</td><td>29</td></tr> <tr><td>保護者</td><td>11</td><td>24</td><td>46</td><td>19</td></tr> <tr><td>教員</td><td>14</td><td>60</td><td>23</td><td>4</td></tr> </table>				Category	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	生徒	15	16	39	29	保護者	11	24	46	19	教員	14	60	23	4	3	3.0	3.3	・読書離れが深刻だが、だからこそ、読書に親しむ姿勢を促したいといつも心がけている。概ね、よく出来たと思う。読書への働きかけはもちろん、図書新聞の発行や、本の情報を知らせるカラフルなポップカードの制作、手作りしおりのプレゼント、ビンゴゲームなど、図書委員を中心に親しみやすい図書館の雰囲気作りに努めた。貸し出し数の増加にさらに結びついていくように、努めていきたい。 ・図書委員会の生徒たちの働きかけにより、図書館利用率や文化祭企画の推進、貸出数の増加の傾向が見受けられたが、さらなる向上を目指していきたい。いつでも利用しやすい環境を作り、本に親しめる雰囲気や、自学自習の場となるように次年度も努力していきたい。
		Category	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない																										
生徒	15	16	39	29																												
保護者	11	24	46	19																												
教員	14	60	23	4																												
具体的な取り組み		・図書委員による図書新聞の発行、本の情報を知らせるポップやポスターの制作。 ・ビンゴゲームや、季節の行事やハロウィンの飾り付け、作家フェアの充実 ・新刊本の案内や、館内の掲示物の工夫。																														
進路	基礎学 力の向上と進路実 現 重点目標Ⅲ 2 生徒の進路実 現	課外による実力養成	アンケート14「課外・小論文、三者面談等は、進路実現に役立っている」		<table border="1" style="font-size: small; margin-top: 5px;"> <tr><th>Category</th><th>そう思う</th><th>ややそう思う</th><th>あまりそう思わない</th><th>そう思わない</th></tr> <tr><td>生徒</td><td>30</td><td>52</td><td>15</td><td>2</td></tr> <tr><td>保護者</td><td>27</td><td>56</td><td>16</td><td>2</td></tr> <tr><td>教員</td><td>30</td><td>65</td><td>5</td><td>0</td></tr> </table>				Category	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	生徒	30	52	15	2	保護者	27	56	16	2	教員	30	65	5	0	4	4.0	4.0	・長期休業中を中心に、学力の向上に向けて実施することができた。生徒は、結果に即座に反映する勉強に目が向きがちであるが、基礎学力があつてこそその対策となるので、進路に応じた対策も重要であるが、毎日の学習の積み重ねが重要であることの意識を育てたい。次年度は、公務員希望対象の夏季課外の講師の確保が難しくなってきたので、その対応策を検討中である。 ・資格・検定へ向けて、課外授業(予定を含む)を実施するなど、各科を中心によく取り組んで頂いた。引き続きお願いしたい。
		Category	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない																										
		生徒	30	52	15	2																										
保護者	27	56	16	2																												
教員	30	65	5	0																												
具体的な取り組み																																
資格取得・検定の奨励	アンケート15「資格取得・検定試験等に取り組む」		<table border="1" style="font-size: small; margin-top: 5px;"> <tr><th>Category</th><th>そう思う</th><th>ややそう思う</th><th>あまりそう思わない</th><th>そう思わない</th></tr> <tr><td>生徒</td><td>38</td><td>40</td><td>19</td><td>3</td></tr> <tr><td>保護者</td><td>37</td><td>42</td><td>17</td><td>4</td></tr> <tr><td>教員</td><td>56</td><td>43</td><td>3</td><td>0</td></tr> </table>				Category	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	生徒	38	40	19	3	保護者	37	42	17	4	教員	56	43	3	0						
Category	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない																												
生徒	38	40	19	3																												
保護者	37	42	17	4																												
教員	56	43	3	0																												
具体的な取り組み																																

令和4年度 学校評価（期末自己評価表）

福島県立福島北高等学校

担当	「運営ビジョン」		評価指標		アンケート資料・具体的な取り組み							自己評価 4-できている 3-まあまあできている 2-あまりできていない 1-できていない																				
	重点目標	重点(具体)項目	自己点検		生徒 276人/374人 (73.8%)	保護者 289人/374人 (77.3%)	教職員 40人/42人 (95.2%)	学校評議員 3人/3人 (100%)	項目 毎 評価	中項目 (平均)	大項目 (平均)																					
			評価方法 アンケート	実施状況 (回数等)								自己点検・アンケート調査を受けての分析・改善策																				
生徒会	重点目標Ⅳ 健康な心身の育成	1 生徒会活動の活性化	部活動加入率の向上	アンケート 16「部活動の活性化に努めている」	<div style="display: flex; justify-content: space-between; font-size: 8px;"> ■ そう思う ■ ややそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない </div> <table border="1" style="font-size: 8px; margin-top: 5px;"> <tr><th>対象</th><th>1</th><th>2</th><th>3</th><th>4</th></tr> <tr><td>生徒</td><td>57</td><td>15</td><td>6</td><td>22</td></tr> <tr><td>保護者</td><td>54</td><td>19</td><td>9</td><td>18</td></tr> <tr><td>教員</td><td>8</td><td>53</td><td>33</td><td>8</td></tr> </table>				対象	1	2	3	4	生徒	57	15	6	22	保護者	54	19	9	18	教員	8	53	33	8	3	3.5	3.2	生徒と保護者の約6割が部活動に参加している、取り組んでいると回答しているのに対し、教員の部活動活性化に対する回答では積極的に取り組んでいる旨の回答がかなり低いことから、本校の部活動が、生徒の自主性が生かされた運営がされていることが窺える。部活動は生徒主体の活動であるべきなので、その意味では福島北高校の部活動運営はしっかりとなされていると思うが、一方、保護者や生徒のコメントから、部活動顧問の部活動の関わり方への不満が感じられる。次年度は校務分掌が整理され、校務分担の明確化とともに、会議数が少なくなることが予想されることから、教員が部活動へ費やす時間が増えたり、活性化に向けて前向きに取り組む姿勢が生まれる等の変化が期待される。 4月の部活動紹介や見学期間イベントはもちろん、学年や担任の先生、顧問の先生方の協力を得ながら、新入生はもちろん、新2年生も含め、部活動加入率を上げる工夫を生徒会中心に実施していきたい。
			対象	1	2	3	4																									
			生徒	57	15	6	22																									
			保護者	54	19	9	18																									
教員	8	53	33	8																												
生徒会行事の成功	アンケート 17「生徒会活動が活発だ」	<div style="display: flex; justify-content: space-between; font-size: 8px;"> ■ そう思う ■ ややそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない </div> <table border="1" style="font-size: 8px; margin-top: 5px;"> <tr><th>対象</th><th>1</th><th>2</th><th>3</th><th>4</th></tr> <tr><td>生徒</td><td>67</td><td>29</td><td>3</td><td>1</td></tr> <tr><td>保護者</td><td>57</td><td>37</td><td>5</td><td>1</td></tr> <tr><td>教員</td><td>45</td><td>53</td><td>3</td><td>1</td></tr> </table>				対象	1	2	3	4	生徒	67	29	3	1	保護者	57	37	5	1	教員	45	53	3	1	4	4	4	今年度は北斗祭があったこともあり、生徒、保護者共に生徒会行事の積極的参加についての評価が大変高かった。コロナ禍で学生生活を過ごしてきた生徒達は、行事の参加はもちろん、行事を見る経験すら不足する中、リーダーとなる生徒達が着実に育ち、それに引っ張られる形で全生徒が本当によく動いていた。また、保護者の協力も心強く、行事を盛り上げる上で欠かせない力だと実感した。 次年度は、コロナ禍バージョンの行事運営が一応収束する予定で、それ以前の行事体系に戻ることができるようになりそうだが、コロナ禍の行事運営の経験は、改めて行事内容や運営方法を見直す機会にもなったように感じる。生徒の活躍の場を広げ、生き生きとした学校生活の機運を高める為にも、先生方一人一人の協力を仰ぎ、密に連携をとりながら学校行事を盛り上げていきたい。			
対象	1	2	3	4																												
生徒	67	29	3	1																												
保護者	57	37	5	1																												
教員	45	53	3	1																												
具体的な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・対面式、部活動紹介、生徒総会、野球応援、選手壮行会(2回)、体験入学、球技大会(夏・春)の実施。 ・生徒会誌「北斗」による、生徒会活動や学校生活の周知。 ・球技大会、北斗祭等における各委員会への仕事割り振り。 ・北斗祭の開祭式、閉祭式、表彰式での各文化部等の活動の場の提案。 																															

令和4年度 学校評価（期末自己評価表）

福島県立福島北高等学校

担当	「運営ビジョン」		評価指標		アンケート資料・具体的な取り組み																											
	重点目標	重点(具体)項目	自己点検						自己評価 4-できている 3-まあまあできている 2-あまりできていない 1-できていない																							
			評価方法 アンケート	実施状況 (回数等)	生徒 276人/374人 (73.8%)	保護者 289人/374人 (77.3%)	教職員 40人/42人 (95.2%)	学校評議員 3人/3人 (100%)	項目 毎 評価	中項目 (平均)	大項目 (平均)	自己点検・アンケート調査を受けての分析・改善策																				
学研	重点目標Ⅲ	2 ボランティア活動の推進	アンケート18「体験型授業やボランティアが活発である」		<table border="1"> <caption>2 ボランティア活動の推進</caption> <thead> <tr> <th>対象</th> <th>そう思う</th> <th>ややそう思う</th> <th>あまりそう思わない</th> <th>そう思わない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生徒</td> <td>18</td> <td>25</td> <td>35</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>19</td> <td>50</td> <td>28</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>教員</td> <td>10</td> <td>63</td> <td>28</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>				対象	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	生徒	18	25	35	22	保護者	19	50	28	2	教員	10	63	28	1	3	3.0		<ul style="list-style-type: none"> ・1年次生向けのボランティア説明会を実施。ボランティアノートの記入の仕方等について確認することが出来た。 ・ボランティアの要請件数が少ない状況ではあるが、要請に応じ校内での連絡や説明会の実施などを行った。 ・アンケートの結果からもボランティア活動が活発だとは言えない現状である。コロナ過でほぼなくなっていたボランティアの要請が少しずつ戻ってきた。今後、地元や地域のイベントが復活した際には、積極的に参加できるよう準備をしていく必要がある。
		対象	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない																										
生徒	18	25	35	22																												
保護者	19	50	28	2																												
教員	10	63	28	1																												
具体的な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・1年次生向けのボランティア説明会(6月) ・夏季休業中のボランティアの連絡調整(家庭科・福祉科) 																															
施設厚生	重点目標Ⅳ	健康な心身の育成	校内美化	アンケート19「清掃では、役割分担を明確にし、責任を持って取り組むよう指導している」	<ul style="list-style-type: none"> ・通常清掃(毎日) ・大掃除(長期休業前後) ・教室整備(年度末) 	<table border="1"> <caption>校内美化</caption> <thead> <tr> <th>対象</th> <th>そう思う</th> <th>ややそう思う</th> <th>あまりそう思わない</th> <th>そう思わない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生徒</td> <td>58</td> <td>39</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>17</td> <td>64</td> <td>18</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>教員</td> <td>50</td> <td>43</td> <td>5</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table>				対象	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	生徒	58	39	2	1	保護者	17	64	18	1	教員	50	43	5	3	3	3.0	<ul style="list-style-type: none"> ・各清掃区域において監督の先生が役割分担を明確にして指導してくださっていることがわかった。今後は清掃用具をもっと充実させることが課題であると感じている。 ・環境委員会では今年度より、月1回教室のモップ洗濯を行っている。ワックス清掃や教室整備においても責任を持って取り組む生徒が多いと感じている。
			対象	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない																									
		生徒	58	39	2	1																										
保護者	17	64	18	1																												
教員	50	43	5	3																												
具体的な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・年度初めに清掃目標『一人一役清掃…自分の仕事は責任を持って取り組もう』と、今年度の重点区域『トイレ、南校舎1階教室と3階廊下』について職員間の共通理解を図る。 ・環境委員会…月1回のクラスのモップ洗濯、校舎内のワックス清掃 																															
	保健教育	アンケート20「保健教育の推進に努めている。」	性教育講演会(3回)	<table border="1"> <caption>保健教育</caption> <thead> <tr> <th>対象</th> <th>そう思う</th> <th>ややそう思う</th> <th>あまりそう思わない</th> <th>そう思わない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生徒</td> <td>43</td> <td>46</td> <td>8</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>15</td> <td>62</td> <td>20</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>教員</td> <td>53</td> <td>45</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table>				対象	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	生徒	43	46	8	3	保護者	15	62	20	2	教員	53	45	3	3	3	3.0	<ul style="list-style-type: none"> ・性教育講演会についてはそれぞれの年次に必要な内容で計画した。1・2年次は夏季休業前に行うことができ、大変有効であると考えており、次年度以降も継続したい。3年次は11月に予定していたが校内で新型コロナウイルス感染が拡大のため中止した。LHRでの実施なので日程や内容・講師選定など各年次と連絡調整しながら進めたい。 ・養護教諭と体育科教員のTTによる保健授業は12月に実施した。 ・11月に予定していた学校歯科医による臨時歯科検診は校内での新型コロナウイルス感染拡大のため中止した。代替として養護教諭による歯科個別指導を実施する。 		
対象	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない																												
生徒	43	46	8	3																												
保護者	15	62	20	2																												
教員	53	45	3	3																												
具体的な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・性教育講演会1～3年(LHR) ・養護教諭と体育科教員のTTによる性教育講座(保健) ・保健だよりの発行 ・保健室前のポスター貼付 ・眼科および歯科個別指導の実施 ・保健委員会…お昼の校内放送での感染防止の呼びかけ、石けん補充など 																															

令和4年度 学校評価（期末自己評価表）

福島県立福島北高等学校

担当	「運営ビジョン」		評価指標		アンケート資料・具体的な取り組み						自己評価 4-できている 3-まあまあできている 2-あまりできていない 1-できていない	項目 毎 評価	中項目 (平均)	大項目 (平均)	自己点検・アンケート調査を受けての分析・改善策																				
	重点目標	重点(具体)項目	自己点検		生徒	保護者	教職員	学校評議員																											
総務	保護者との連携	アンケート21「学校と保護者との連携が図られている」	PTA役員会・理事会が定期的に行われている。(年4回)	<table border="1"> <tr><th>対象</th><th>1</th><th>2</th><th>3</th><th>4</th></tr> <tr><td>生徒</td><td>50</td><td>33</td><td>12</td><td>5</td></tr> <tr><td>保護者</td><td>25</td><td>56</td><td>16</td><td>3</td></tr> <tr><td>教員</td><td>25</td><td>70</td><td>5</td><td>0</td></tr> </table>	対象	1	2	3	4	生徒	50	33	12	5	保護者	25	56	16	3	教員	25	70	5	0	生徒 276人/374人 (73.8%)	保護者 289人/374人 (77.3%)	教職員 40人/42人 (95.2%)	学校評議員 3人/ 3人 (100%)				3.0	3.0	3.0	定期的に調査広報部の保護者に来校してもらいPTA新聞「北斗」の編集作業を行った。「北斗」も予定通り完成できた。健全育成部では、年に3度の自転車安全走行一斉指導を実施している。早朝から校門入口前や東邦銀行平野支店前の信号機付近にて、熱心に交通安全の意識の啓蒙に努めた。進路対策委員会の各種研修は、新型コロナの影響で残念ながらすべて中止となった。これらの諸活動の通知は、該当保護者宛の通知を作成、配布又はメール等で連絡を取っており、各活動に積極的に参加いただいている。また年に4回、役員会・理事会が開催され、本校教育活動の活性化に向け、熱心な意見交換がなされた。
		対象	1	2	3	4																													
		生徒	50	33	12	5																													
保護者	25	56	16	3																															
教員	25	70	5	0																															
具体的な取り組み			PTA各種活動日及び集計締切日より一か月以上前に、通知を配布する。																																
具体的な取り組み																																			
教務	家庭・地域との連携	家庭への情報発信	アンケート22「学校メールやホームページなどで家庭への情報発信に努めている」	随時	<table border="1"> <tr><th>対象</th><th>1</th><th>2</th><th>3</th><th>4</th></tr> <tr><td>生徒</td><td>31</td><td>31</td><td>25</td><td>13</td></tr> <tr><td>保護者</td><td>39</td><td>49</td><td>10</td><td>2</td></tr> <tr><td>教員</td><td>53</td><td>48</td><td>0</td><td>0</td></tr> </table>	対象	1	2	3	4	生徒	31	31	25	13	保護者	39	49	10	2	教員	53	48	0	0	生徒 276人/374人 (73.8%)	保護者 289人/374人 (77.3%)	教職員 40人/42人 (95.2%)	学校評議員 3人/ 3人 (100%)			3	3.0	3.0	昨年度よりホームページの更新が大幅に増加し、一昨年度までと比べて閲覧数も伸びている。今年度も授業風景や行事等、学校生活の様子がわかるように努めている。また、保護者への一斉メールにホームページのリンクを貼り付けアクセスしやすいように工夫している。 教員は、家庭への情報発信について全員が肯定的な回答をしており、家庭への連絡に努めていることが伺える。一方で、学校からのメールやホームページを確認している生徒および保護者は昨年度より減少傾向がみられる。これまでも努力しているところではあるが、今後も情報発信について工夫していきたい。
		対象	1	2	3	4																													
生徒	31	31	25	13																															
保護者	39	49	10	2																															
教員	53	48	0	0																															
具体的な取り組み																																			
学研	地域との連携	地域との連携	アンケート23「地域との連携が図られている」		<table border="1"> <tr><th>対象</th><th>1</th><th>2</th><th>3</th><th>4</th></tr> <tr><td>生徒</td><td>22</td><td>51</td><td>23</td><td>4</td></tr> <tr><td>保護者</td><td>20</td><td>64</td><td>15</td><td>1</td></tr> <tr><td>教員</td><td>25</td><td>63</td><td>13</td><td>0</td></tr> </table>	対象	1	2	3	4	生徒	22	51	23	4	保護者	20	64	15	1	教員	25	63	13	0	生徒 276人/374人 (73.8%)	保護者 289人/374人 (77.3%)	教職員 40人/42人 (95.2%)	学校評議員 3人/ 3人 (100%)			3	3.0	3.0	・飯坂地区について、地元の歴史や文化などに詳しい講師の先生に講演をしていただき、地域理解を深めた。また、実際に散策し地元の魅力を再確認することもできた。今後地元の魅力や課題について調べたり、話を聞いたりする学習活動を地元と連携していくために、窓口があるとういことを考える。
		対象	1	2	3	4																													
生徒	22	51	23	4																															
保護者	20	64	15	1																															
教員	25	63	13	0																															
具体的な取り組み			<ul style="list-style-type: none"> ・地域理解講演会(講師:いざかサポーターズクラブ)の実施(4月)1年次 ・地域理解校外学習「花ももの里、館の山散策」(4月)1年次 ・飯坂町理解講演会(講師:元福島市職員)の実施(9月実施)1年次 ・飯坂町研究(飯坂町巡検・飯坂町検定)の実施(9月実施)1年次 																																
教頭	学校生活への満足度	意義ある学校生活	アンケート24「生徒は満足した学校生活を送っている」		<table border="1"> <tr><th>対象</th><th>1</th><th>2</th><th>3</th><th>4</th></tr> <tr><td>生徒</td><td>37</td><td>48</td><td>12</td><td>3</td></tr> <tr><td>保護者</td><td>34</td><td>49</td><td>12</td><td>4</td></tr> <tr><td>教員</td><td>5</td><td>88</td><td>8</td><td>0</td></tr> </table>	対象	1	2	3	4	生徒	37	48	12	3	保護者	34	49	12	4	教員	5	88	8	0	生徒 276人/374人 (73.8%)	保護者 289人/374人 (77.3%)	教職員 40人/42人 (95.2%)	学校評議員 3人/ 3人 (100%)			3.0	3.0	3.0	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員の期末評価の結果では、令和3年度より1%の教職員の中であまりそう思わないと評価していた。しかしながら、生徒の学校評価では令和3年度の85%の生徒より(+5%)の90%の生徒が学校生活に満足しているとの結果になった。また、保護者の評価では、令和3年度と比較して(+4)の87%という結果だった。今年度は、保護者の御協力のおかげで、冷房費を値上げさせていただいた。そのため、昨年度の生徒、保護者の意見を踏まえ、夏場の冷房の使用時間を早めることや、気温によって冬場の暖房機器をボイラーとブルーヒーターの併用を行い学習環境の改善を図ることができた。今後も生徒、保護者の意見を参考に改善していきたい。 ・教職員の組織改編を行い教職員の多忙化解消を図ることにより、教職員の心身の余裕が生まれ、生徒と関わる時間の確保に繋がると考える。次年度は、新体制で全教職員が共通理解の下、生徒一人一人の学校生活を満足したものになるように努力していきたい。 ・生徒の実態を把握した学習指導や教科横断的な学習指導、効果的なICTの活用をするなど教職員の授業改善や資質向上のため、互見授業の実施や研修の機会を確保していくことによる生徒の満足度は向上すると考えるので、今後も適宜実施していきたい。
		対象	1	2	3	4																													
生徒	37	48	12	3																															
保護者	34	49	12	4																															
教員	5	88	8	0																															
具体的な取り組み			<ul style="list-style-type: none"> ・満足度は、本校の教育活動全体を総括して、各項目をPDCAサイクルで検証している。 ・具体的な取り組みは、各年次や校務分掌、教職員それぞれが担っている。中間評価後、教職員一人一人がそれぞれの反省を踏まえ、家庭、地域と連携を図りながら、生徒の高校生活が充実したものになるように努力してきた。 ・生徒の学校への満足度の向上のため、今年度は学校組織の改編を行った。次年度は新体制で生徒と関わる時間の確保をしていく。 																																